



# 950 GC

## ホイールローダ

## 技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域の Cat® ディーラにお問い合わせください。

### 目次

仕様.....	2
エンジン.....	2
質量.....	2
運転仕様.....	2
トランスミッション.....	2
整備交換時の容量.....	2
バケット容量.....	2
エアコンディショニングシステム.....	3
油圧システム.....	3
タイヤ.....	3
騒音.....	3
キャブ.....	3
ブレーキ.....	3
寸法.....	4
旋回半径.....	5
タイヤオプション.....	5
950 GC に固有の変更.....	5
バケットフィルファクターとセレクションチャート.....	6
運転仕様.....	7
フォーク仕様.....	11
マテリアルハンドリングアーム仕様.....	15
標準およびオプション装備品.....	16
950 GC の環境に関する宣言.....	17

# 950 GC ホイールローダ仕様

## エンジン

エンジンモデル	Cat® C7.1	
エンジン出力 (2,200 rpm 時)	169 kW	227 hp
ISO 14396:2002		
ISO 14396:2002 (DIN)	230 hp (メートル単位)	
定格出力 (グロス) (2,200 rpm 時)	170 kW	228 hp
SAE J1995:2014		
SAE J1995:2014 (DIN)	231 hp (メートル単位)	
定格出力 (ネット) (2,200 rpm 時)	151 kW	202 hp
ISO 9249:2007、SAE J1349:2011		
SAE J1349:2011 (DIN)	205 hp (メートル単位)	
エンジントルク (1,400 rpm 時)	1,092 N·m	805 lbf-ft
ISO 14396:2002		
定格トルク (グロス) (1,400 rpm 時)	1,099 N·m	811 lbf-ft
SAE J1995:2014		
定格トルク (ネット) (1,400 rpm 時)	1,041 N·m	768 lbf-ft
ISO 3294:2007、SAE J1349:2011		
EEC 80/1269		
内径	105 mm	4.13 in
行程	135 mm	5.31 in
総行程容積 (排気量)	7.01 L	428 in <sup>3</sup>

•CAT エンジンは、米国 EPA Tier 4 Final、EU Stage V、韓国 Stage V、日本オフロード法 2014 年基準の各排出ガス基準に適合しています。

•表示されている正味出力は、エンジンにファン、オルタネータ、エアクリーナ、後処理装置が装備された状態で、フライホイール部で得られる出力です。

•CAT ディーゼルエンジンは、ULSD (硫黄含有量 15 ppm 以下の超低硫黄ディーゼル燃料)、または次の低炭素強度燃料を混合した ULSD を使用する必要があります。

•最大 20 % の FAME (Fatty Acid Methyl Ester、脂肪酸メチルエステル) バイオディーゼル\*

•100 % の再生可能ディーゼル、HVO (水素化植物油)、および GTL (ガス液化) 燃料

問題なくご使用いただくためにガイドラインを参照してください。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせいただくか、"Caterpillar 推奨の機械油水類" (SEBU6250) を参照してください。

\*後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大 100 % のバイオディーゼルを使用できます (混合率が 20 % を超えるバイオディーゼルの使用については、Cat ディーラにお問い合わせください)

## 質量

運転質量 19,069 kg 42,040 lb

•示している質量、静止転倒荷重、運転質量は、次の車両仕様構成に基づきます。Maxam 23.5R25 タイヤ、油水類満タン、オペレータ搭乗、標準カウンタウエイト、標準周囲アレンジメント、リミテッドスリップディファレンシャルアクスル (フロント/リア)、ローディングフェンダ、ライドコントロール、BOCE を装着した 3.1 m<sup>3</sup> (4.0 yd<sup>3</sup>) ゼネラルパーパスバケット。

## 運転仕様

静止転倒荷重 - 38°フルターン時

タイヤたわみあり	11,160 kg	24,604 lb
タイヤたわみなし	11,906 kg	26,248 lb
掘削力	154 kN	34,645 lbf

- "質量" の項で定義した車両コンフィギュレーションの場合。
- ISO 14397-1:2007 第 1~6 項に完全適合 (計算と試験間に 2% 検証を義務付け)。

## トランスミッション

前進 1 速	7.3 km/h	4.5 mph
前進 2 速	12.8 km/h	8.0 mph
前進 3 速	22.8 km/h	14.2 mph
前進 4 速	36 km/h	22.4 mph
後進 1 速	7.3 km/h	4.5 mph
後進 2 速	12.8 km/h	8.0 mph
後進 3 速	22.8 km/h	14.2 mph

- 最高走行速度 (23.5-25 タイヤ)。
- 旋回半径が 760 mm (30 in) の標準 L3 タイヤが装着された標準車両で、バケットが空荷のときの最高走行速度

## 整備交換時の容量

燃料タンク	290 L	76.6 gal
尿素水タンク	16 L	4.2 gal
冷却系統	50 L	13.2 gal
クランクケース	18 L	4.8 gal
トランスミッション	45 L	11.9 gal
ディファレンシャルおよびファイナルドライブ - フロント	40 L	10.6 gal
ディファレンシャルおよびファイナルドライブ - リア	38 L	10 gal
作動油タンク	112 L	29.6 gal

## バケット容量

バケットバケット範囲 2.7~4.4 m<sup>3</sup> 3.5~5.75 yd<sup>3</sup>

## エアコンディショニングシステム

当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒 R134a (地球温暖化係数 =1,430) を使用。システムに含まれている冷媒の質量は 1.9 kg (4.2 lb) で、CO<sub>2</sub> 換算で 2.717 メートルトン (2.995 米トン) に相当します。

## 油圧システム

作業装置システムポンプタイプ	ピストン
ステアリングシステムポンプタイプ	ピストン
作業装置システム – 最大ポンプ出力 (2,390 rpm 時)	256 L/min 68 gal/min
作業装置システム – 最大動作圧力 (50 ± 1.5 L/min 時)	27,900 kPa 4,047 psi
作業装置システム – オプションの第 3 機能最大圧力 (70 L/min (18.5 gal/min) 時)	20,680 kPa 2,999 psi
作業装置システム – オプションの第 3 機能最大流量	240 L/min 63 gal/min
油圧サイクルタイム – 運搬位置から上げ	5.4 秒
油圧サイクルタイム – ダンプ、最大上げ時	1.2 秒
油圧サイクルタイム – 下げ、無積載、浮き下げ	2.8 秒
油圧サイクルタイム – 合計サイクルタイム	9.4 秒

## タイヤ\*

- 以下からお選びいただけます。
- 23.5R25 L3 ★★ (Triangle および Maxam)
- 23.5R25 L3 ★ (Bridgestone)
- 23.5R25 L2 ★ (Bridgestone)
- 23.5R25 L5 ★★ (Triangle、Maxam、および Bridgestone)

\* タイヤは地域によって異なります。詳細については、最寄りの Cat デイラーにお問い合わせください。

## 騒音

オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008)	73 dB (A)
外部音響出力レベル (ISO 6395:2008)	109 dB(A)
オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008)	72 dB (A) *
外部音響出力レベル (ISO 6395:2008)	107 dB (A) **

\*EU 指令および英国指令の採用国を含む。  
\*\*EU 騒音指令 2000/14/EC およびイギリス騒音規制 2001 No. 1701

## キャブ

ROPS/FOPS	ROPS/FOPS は ISO 3471:2008 および ISO 3449:2005 Level II 規格に適合
-----------	--

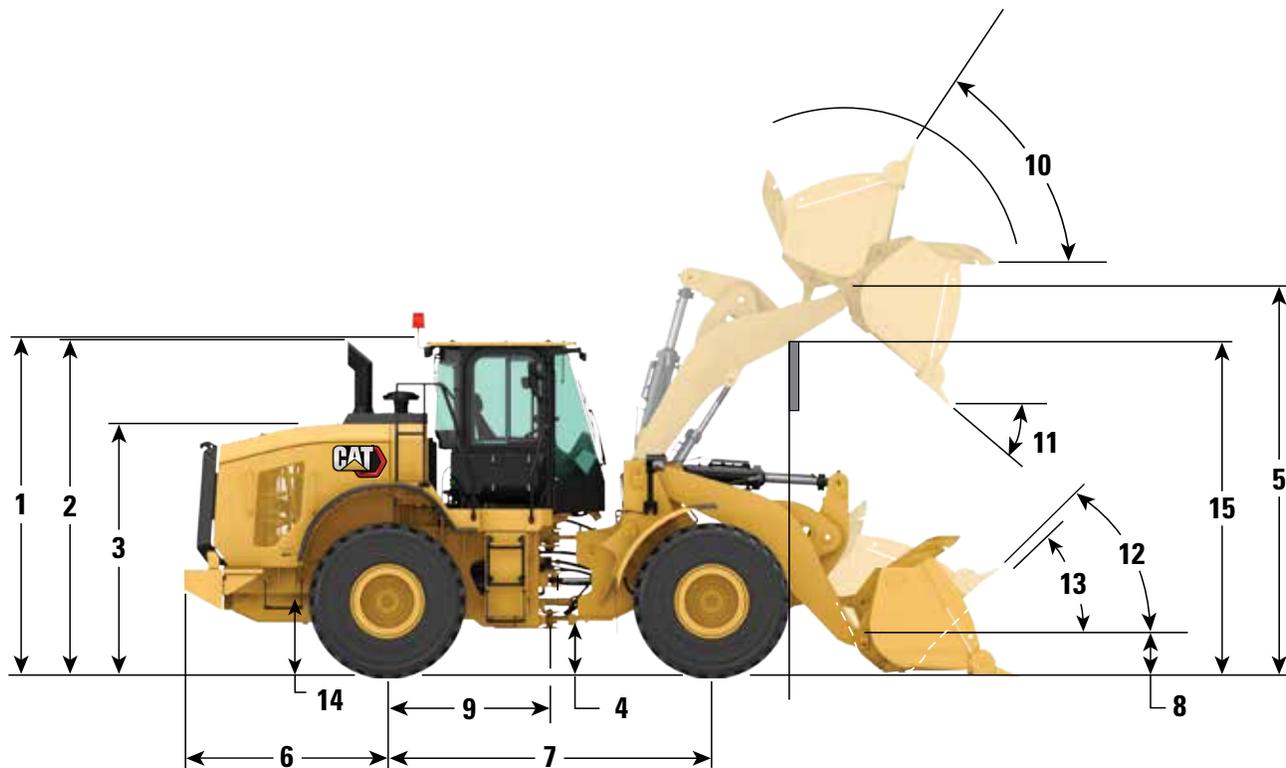
## ブレーキ

ブレーキ	ISO 3450:2011 規格に適合したブレーキをコントロールするために使用されます。
------	--

# 950 GC ホイールローダの仕様

## 寸法

すべての寸法は、Maxam MS302 23.5R25 L3 ラジアルタイヤ装着時の概算値です。



1	ROPS 頂上までの高さ	3,458 mm	11'4"
2	全高 (マフラ上端まで)	3,416 mm	11'2"
3	全高 (フード上端まで)	2,673 mm	8'9"
4	最低地上高	460 mm	1'6"
5	B ピンの高さ	4,188 mm	13'9"
6	リアアクスルの中心線からカウンタウエイトの端まで	2,055 mm	6'9"
7	ホイールベース	3,300 mm	10'10"
8	B ピン高さ (運搬時)	655 mm	2'2"
9	リアアクスルの中心線からヒッチまで	1,650 mm	5'5"
10	ラックバック (最大リフト時)		60°
11	ダンプ角度 (最大リフト時)		52°
12	ラックバック (運搬位置)		45°
13	ラックバック (地上時)		40°
14	アクスル中心線までの高さ	750 mm	2'6"
15	リフトアームクリアランス	3,649 mm	12'0"

## 旋回半径

すべての寸法は、23.5R25 Maxam MS302 L3 タイヤ装着時の概算値です。

タイヤ外側までの旋回半径	6,164 mm	20'3"
タイヤ内側までの旋回半径	3,419 mm	11'3"
タイヤを含む幅	2,840 mm	9'4"
カウンタウエイト外縁までの旋回半径	6,196 mm	20'4"

## タイヤオプション\*

タイヤブランド	Maxam	Triangle	ブリヂ ストン	Maxam	Triangle	ブリヂ ストン	ブリヂ ストン
タイヤサイズ	23.5R25	23.5R25	23.5R25	23.5R25	23.5R25	23.5R25	23.5R25
トレッドタイプ	L5	L5	L5	L3	L3	L3	L2
トレッドパターン	MS503	TL538S+	VSDT	MS302	TB516	VJT	VUT
車両全幅 – 最大 (積荷なし) **	2,775 mm 9'1"	2,819 mm 9'3"	2,821 mm 9'3"	2,832 mm 9'3"	2,751 mm 9'0"	2,814 mm 9'2"	2,825 mm 9'3"
車両全幅 – 最大 (積荷あり) **	2,805 mm 9'2"	2,827 mm 9'3"	2,839 mm 9'4"	2,843 mm 9'3"	2,751 mm 9'0"	2,833 mm 9'3"	2,843 mm 9'3"
垂直方向寸法 の変化 (フロントおよびリアの平均)	51 mm 2.01"	48 mm 1.89"	44 mm 1.73"	0 mm 0"	2 mm 0.01"	-14 mm -0.55"	-17 mm -0.06"
水平リーチの変化	-18.5 mm -0.73"	-22.5 mm -0.89"	-15.5 mm -0.61"	0 mm 0"	5.5 mm 0.02"	14.5 mm 0.57"	14.5 mm 0.57"
最小旋回半径の変化 (最外輪外側)	-19.0 mm -0.75"	-8.0 mm -0.31"	-2.0 mm -0.08"	0 mm 0"	-46 mm -0.15"	-5 mm -0.02"	0 mm 0"
最小旋回半径の変化 (内輪内側)	19.0 mm 0.75"	8.0 mm 0.31"	2.0 mm 0.08"	0 mm 0"	46 mm 0.15"	5 mm 0.02"	0 mm 0"
運転質量の変化 (バラストなし)	472 kg 1,041 lb	420 kg 926 lb	568 kg 1,252 lb	0 kg 0 lb	-12 kg -26 lb	0 kg 0 lb	-120 kg -265 lb

\* タイヤは地域によって異なります。詳細については、最寄りの Cat ディーラにお問い合わせください。

\*\* タイヤ膨らみ幅 (タイヤ膨張分含む)。

## 950 GC に固有の変更\*

タイヤブランド	Maxam	Triangle	ブリヂ ストン	ブリヂ ストン
タイヤサイズ	23.5R25	23.5R25	23.5R25	23.5R25
トレッドタイプ	L3	L3	L3	L2
トレッドパターン	MS302	TB516	VJT	VUT
静止転倒荷重の変化 – 直進時	7 kg 15.4 lb	-8 kg -17.6 lb	0 kg 0 lb	-79 kg -174 lb
静止転倒荷重の変化 – アーティキュレート時	0 kg 0 lb	-7 kg -15.4 lb	0 kg 0 lb	-70 kg -154 lb

\* タイヤは地域によって異なります。詳細については、最寄りの Cat ディーラにお問い合わせください。

注記: 「変更」の寸法に使用した基準タイヤ: Maxam MS302。

# 950 GC ホイールローダの仕様

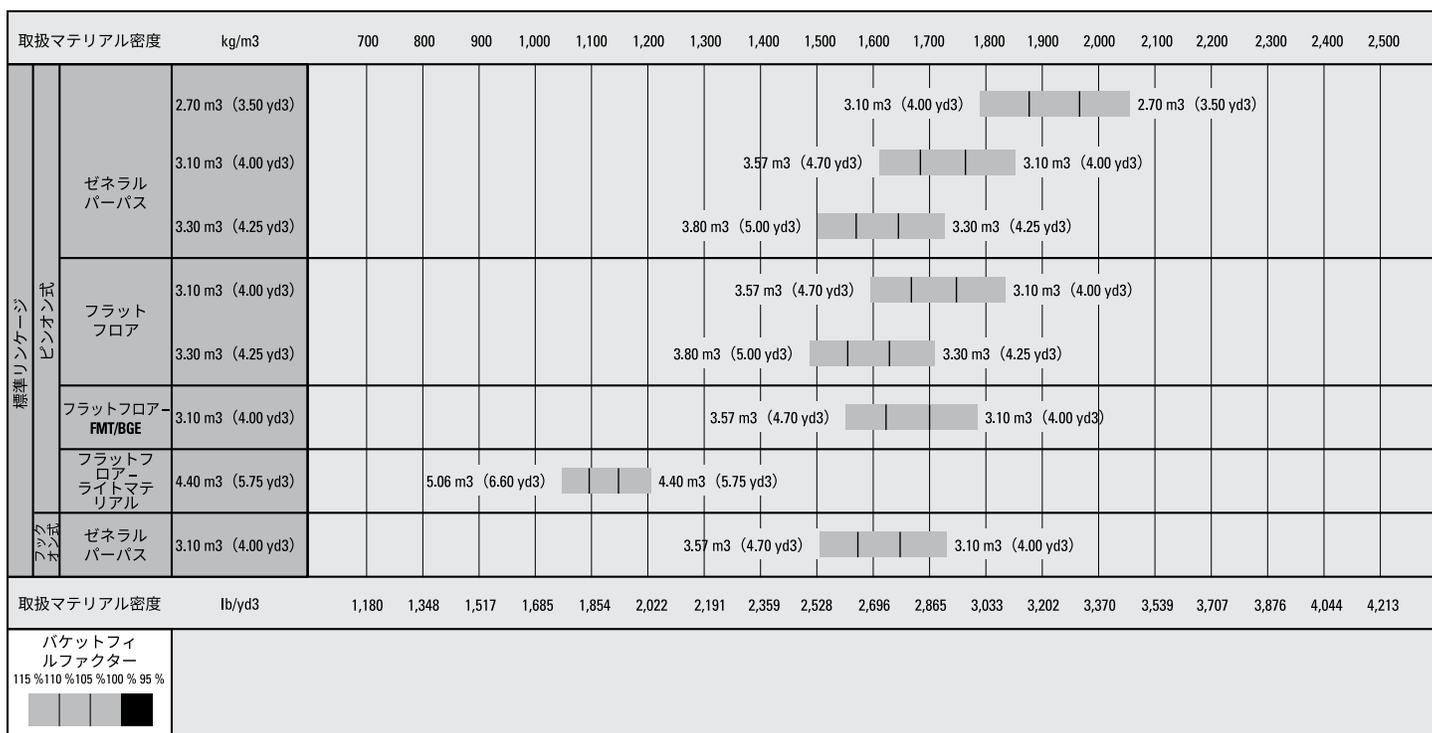
## バケット充填比とセレクションチャート

バケットのサイズは、材料密度と想定されるフィルファクターに基づいて選択する必要があります。CAT パフォーマンスシリーズのバケットでは、長いフロア、広いバケット開口部、拡大された荷の保持角度、丸みをつけたサイドボード、一体型のスピルガードが特長で、従来製品または CAT 製以外のバケットよりもフィルファクターが大幅に改善されています。そのため、このバケットが実際に積込できる容量は、定格容量を上回ることがあります。

ルーズマテリアル	取扱マテリアル密度	フィルファクター (%) *
土 / 粘土	1,500 ~ 1,700 kg/m <sup>3</sup> (2,528 ~ 2,865 lb/yd <sup>3</sup> )	115
砂および砂利	1,500 ~ 1,700 kg/m <sup>3</sup> (2,528 ~ 2,865 lb/yd <sup>3</sup> )	115
アグリゲート :		
25 ~ 76 mm (1 ~ 3 in)	1,600 ~ 1,700 kg/m <sup>3</sup> (2,696 ~ 2,865 lb/yd <sup>3</sup> )	110
19 mm (0.75 in) 以下	1,800 kg/m <sup>3</sup> (3,033 lb/yd <sup>3</sup> )	105
岩石用 :		
76 mm (3 in) 以上	1,600 kg/m <sup>3</sup> (2,696 lb/yd <sup>3</sup> )	100

\*ISO 7546:1983 定格容量に対する比率。

注記: 達成できるフィルファクターは、製品が洗浄されているかどうかによっても異なります。



注記: すべてのバケットにボルトオンエッジが示されています。

FMT/BGE = フラッシュマウントバックグレーディングエッジ

## 運転仕様

バケットタイプ	ゼネラルパーパス-ピンオン式						
		ボルトオン カッティング ツースとセグ エッジ メント ヒント			ボルトオン カッティング ツースとセグ エッジ メント ヒント		
エッジのタイプ							
容量 - 定格	m <sup>3</sup>	2.70	2.70	2.50	3.10	3.10	2.90
	yd <sup>3</sup>	3.50	3.50	3.25	4.00	4.00	3.75
容量 - 110% 定格	m <sup>3</sup>	3.00	3.00	2.80	3.40	3.40	3.20
	yd <sup>3</sup>	4.00	4.00	3.50	4.50	4.50	4.25
幅	mm	2,927	2,994	2,994	2,927	2,994	2,994
	ft/in	9'7"	9'10"	9'10"	9'7"	9'10"	9'10"
ダンピングクリアランス (最大リフトおよび 45° ダンプ時)	mm	3,130	3,015	3,015	3,050	2,933	2,933
	ft/in	10'3"	9'9"	9'9"	10'0"	9'8"	9'8"
リーチ (最大リフトおよび 45° ダンプ時)	mm	1,207	1,320	1,320	1,261	1,372	1,372
	ft/in	4'0"	4'3"	4'3"	4'2"	4'6"	4'6"
リーチ (リフトアーム水平、 バケット水平時)	mm	2,620	2,781	2,781	2,719	2,880	2,880
	ft/in	8'6"	9'1"	9'1"	8'11"	9'5"	9'5"
掘削深さ	mm	86	86	56	86	86	56
	in	3.39"	3.39"	2.2"	3.39"	3.39"	2.2"
全長	mm	8,138	8,312	8,312	8,292	8,466	8,466
	ft/in	26'7"	27'3"	27'3"	27'3"	27'9"	27'9"
全高 (バケット最大リフト時)	mm	5,557	5,557	5,557	5,642	5,642	5,642
	ft/in	18'2"	18'2"	18'2"	18'6"	18'6"	18'6"
ローダ最小回転半径 (バケットを 運搬姿勢にしたとき)	mm	13,763	13,927	13,927	13,819	13,984	13,984
	ft/in	45'2"	45'7"	45'7"	45'4"	45'11"	45'11"
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみあり) *	kg	12,618	12,481	12,807	12,721	12,583	12,912
	lb	27,818	27,516	28,235	28,045	27,741	28,466
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみなし) *	kg	13,328	13,190	13,525	13,559	13,420	13,760
	lb	29,383	29,079	29,818	29,892	29,586	30,336
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみあり) *	kg	10,975	10,838	11,147	11,160	11,021	11,335
	lb	24,196	23,894	24,575	24,604	24,297	24,989
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみなし) *	kg	11,666	11,528	11,846	11,906	11,766	12,090
	lb	25,719	25,415	26,116	26,248	25,940	26,654
掘削力	kN	168	166	184	154	153	168
	lbf	37,768	37,318	41,365	34,638	34,380	37,666
運転質量 *	kg	18,454	18,562	18,405	19,069	19,177	19,020
	lb	40,684	40,922	40,576	42,040	42,278	41,932

\* 示している静止転倒荷重および運転質量は、次の車両仕様構成に基づきます。Maxam MS302 23.5R25 タイヤ、油種類満タン、オペレータ搭乗、標準カウンタウエイト、標準周囲アレンジメント、リミテッドスリップディファレンシャルアクスル (フロント/リア)、ローディングフェンダ、ライドコントロール。

(タイヤたわみあり) ISO 14397-1:2007 第 1~6 項に完全適合 (計算と試験間に 2% 検証を義務付け)。

(タイヤたわみなし) ISO 14397-1:2007 第 1~5 項に適合。

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りの Cat ディーラーにお問い合わせください。

# 950 GC ホイールローダの仕様

## 運転仕様

バケットタイプ	ゼネラルパーパス-ピンオン式						
		ボルトオン カッティング エッジ			ボルトオン カッティング エッジ		
エッジのタイプ		ツースとセグ メント	ヒント	ツースとセグ メント	ヒント		
容量 - 定格	m <sup>3</sup>	3.30	3.30	3.10	3.40	3.40	3.20
	yd <sup>3</sup>	4.25	4.25	4.00	4.50	4.50	4.25
容量 - 110% 定格	m <sup>3</sup>	3.60	3.60	3.40	3.70	3.70	3.50
	yd <sup>3</sup>	4.75	4.75	4.50	4.75	4.75	4.50
幅	mm	2,927	2,994	2,994	2,927	2,994	2,994
	ft/in	9'7"	9'10"	9'10"	9'7"	9'10"	9'10"
ダンピングクリアランス (最大リフトおよび 45° ダンプ時)	mm	3,012	2,894	2,894	2,985	2,867	2,867
	ft/in	9'11"	9'6"	9'6"	9'10"	9'5"	9'5"
リーチ (最大リフトおよび 45° ダンプ時)	mm	1,292	1,402	1,402	1,312	1,423	1,423
	ft/in	4'3"	4'7"	4'7"	4'4"	4'8"	4'8"
リーチ (リフトアーム水平、 バケット水平時)	mm	2,769	2,930	2,930	2,804	2,965	2,965
	ft/in	9'1"	9'7"	9'7"	9'2"	9'9"	9'9"
掘削深さ	mm	86	86	56	86	86	56
	in	3.39"	3.39"	2.2"	3.4"	3.4"	2.2"
全長	mm	8,342	8,516	8,516	8,377	8,551	8,551
	ft/in	27'4"	27'11"	27'11"	27'6"	28'1"	28'1"
全高 (バケット最大リフト時)	mm	5,690	5,690	5,690	5,722	5,722	5,722
	ft/in	18'8"	18'8"	18'8"	18'9"	18'9"	18'9"
ローダ最小回転半径 (バケットを運搬姿勢にしたとき)	mm	13,847	14,013	14,013	13,867	14,034	14,034
	ft/in	45'5"	46'0"	46'0"	45'5"	46'0"	46'0"
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみあり) *	kg	12,635	12,495	12,817	12,574	12,434	12,760
	lb	27,855	27,547	28,257	27,721	27,413	28,132
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみなし) *	kg	13,476	13,335	13,668	13,417	13,276	13,613
	lb	29,709	29,299	30,133	29,579	29,268	30,012
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみあり) *	kg	11,078	10,939	11,246	11,021	10,882	11,193
	lb	24,423	24,116	24,793	24,298	23,990	24,675
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみなし) *	kg	11,826	11,685	12,002	11,771	11,629	11,951
	lb	26,072	25,761	26,460	25,950	25,638	26,347
掘削力	kN	148	147	160	144	143	156
	lbf	33,238	32,981	36,033	32,318	32,062	34,966
運転質量 *	kg	19,110	19,218	19,061	19,137	19,245	19,088
	lb	42,130	42,368	42,022	42,191	42,429	42,083

\* 示している静止転倒荷重および運転質量は、次の車両仕様構成に基づきます。Maxam MS302 23.5R25 タイヤ、油水類満タン、オペレータ搭乗、標準カウンタウエイト、標準周囲アレンジメント、リミテッドスリップディファレンシャルアクスル (フロント/リア)、ローディングフェンダ、ライドコントロール。

(タイヤたわみあり) ISO 14397-1:2007 第 1~6 項に完全適合 (計算と試験間に 2% 検証を義務付け)。

(タイヤたわみなし) ISO 14397-1:2007 第 1~5 項に適合。

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りの Cat ディーラにお問い合わせください。

# 950 GC ホイールローダの仕様

## 運転仕様

バケットタイプ	フラットフロア - ピンオン式								
		ボルトオン カッティング ツースとセ グエッジ			ヒント	ボルトオ ンカッ ティング ツースとセ グメント			ヒント
エッジのタイプ									
	容量 - 定格	m <sup>3</sup>	3.10	3.10	2.90	3.30	3.30	3.10	
		yd <sup>3</sup>	4.00	4.00	3.75	4.25	4.25	4.00	
容量 - 110% 定格		m <sup>3</sup>	3.40	3.40	3.20	3.60	3.60	3.40	
		yd <sup>3</sup>	4.50	4.50	4.25	4.75	4.75	4.50	
幅		mm	2,927	2,994	2,994	2,927	2,994	2,994	
		ft/in	9'7"	9'10"	9'10"	9'7"	9'10"	9'10"	
ダンピングクリアランス (最大リフトおよび 45°ダンプ時)		mm	2,981	2,856	2,856	2,943	2,817	2,817	
		ft/in	9'9"	9'4"	9'4"	9'8"	9'3"	9'3"	
リーチ (最大リフトおよび 45°ダンプ時)		mm	1,178	1,281	1,281	1,217	1,319	1,319	
		ft/in	3'10"	4'2"	4'2"	4'0"	4'4"	4'4"	
リーチ (リフトアームが水平でバケットが 同じ高さにあるとき)		mm	2,729	2,890	2,890	2,784	2,945	2,945	
		ft/in	8'11"	9'6"	9'6"	9'2"	9'8"	9'8"	
掘削深さ		mm	86	86	56	86	86	56	
		in	3.39"	3.39"	2.2"	3.39"	3.39"	2.2"	
全長		mm	8,302	8,476	8,476	8,357	8,531	8,531	
		ft/in	27'3"	27'10"	27'10"	27'5"	28'0"	28'0"	
全高 (バケット最大リフト時)		mm	5,643	5,643	5,643	5,692	5,692	5,692	
		ft/in	18'6"	18'6"	18'6"	18'8"	18'8"	18'8"	
ローダ最小旋回半径 (バケットを運搬姿勢にしたとき)		mm	13,824	13,990	13,990	13,855	14,022	14,022	
		ft/in	45'4"	45'11"	45'11"	45'6"	46'0"	46'0"	
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみあり) *		kg	12,603	12,465	12,783	12,511	12,373	12,690	
		lb	27,785	27,481	28,182	27,582	27,278	27,977	
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみなし) *		kg	13,426	13,287	13,614	13,337	13,197	13,524	
		lb	29,599	29,293	30,014	29,403	29,094	29,815	
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、タイヤたわみあり) *		kg	11,055	10,917	11,220	10,968	10,830	11,133	
		lb	24,372	24,068	24,736	24,180	23,876	24,544	
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、タイヤたわみなし) *		kg	11,787	11,648	11,959	11,703	11,563	11,875	
		lb	25,986	25,679	26,365	25,801	25,492	26,180	
掘削力		kN	153	152	166	146	145	158	
		lbf	34,341	34,084	37,319	32,834	32,578	35,565	
運転質量 *		kg	19,082	19,190	19,033	19,124	19,232	19,075	
		lb	42,069	42,307	41,961	42,161	42,399	42,053	

\* 示している静止転倒荷重および運転質量は、次の車両仕様構成に基づきます。Maxam MS302 23.5R25 タイヤ、油水類満タン、オペレータ搭乗、標準カウンタウエイト、標準周囲アレンジメント、リミテッドスリップディファレンシャルアクスル (フロント/リア)、ローディングフェンダ、ライドコントロール。

(タイヤたわみあり) ISO 14397-1:2007 第 1~6 項に完全適合 (計算と試験間に 2% 検証を義務付け)。

(タイヤたわみなし) ISO 14397-1:2007 第 1~5 項に適合。

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りの Cat ディーラにお問い合わせください。

# 950 GC ホイールローダの仕様

## 運転仕様

バケットタイプ	フラットフロア -ピンオン式		フラットフロア -ライトマテリアル -ピンオン式		ゼネラルパーパス -フックオン	
	フラッシュマウント バックグレーディング エッジ	ボルトオン カッティング エッジ	ボルトオン カッティング エッジ	ボルトオン カッティング エッジ	ツースとセ グメント	ヒント
容量 - 定格	m <sup>3</sup>	3.10	4.40	3.10	3.10	2.90
	yd <sup>3</sup>	4.00	5.75	4.00	4.00	3.75
容量 - 110% 定格	m <sup>3</sup>	3.40	4.80	3.40	3.40	3.20
	yd <sup>3</sup>	4.50	6.25	4.50	4.50	4.25
幅	mm	2,994	3,059	2,927	2,994	2,994
	ft/in	9'10"	10'0"	9'7"	9'10"	9'10"
ダンピングクリアランス (最大リフトおよび 45°ダンプ時)	mm	2,815	2,782	3,008	2,891	2,891
	ft/in	9'3"	9'2"	9'10"	9'6"	9'6"
リーチ (最大リフトおよび 45°ダンプ時)	mm	1,364	1,355	1,297	1,409	1,409
	ft/in	4'6"	4'5"	4'3"	4'8"	4'8"
リーチ (リフトアームが水平でバケットが同 じ高さにあるとき)	mm	2,977	2,995	2,774	2,935	2,935
	ft/in	9'9"	9'10"	9'1"	9'8"	9'8"
掘削深さ	mm	59	102	94	94	64
	in	2.32"	4.02"	3.7"	3.7"	2.52"
全長	mm	8,541	8,581	8,353	8,527	8,527
	ft/in	28'0"	28'2"	27'5"	28'0"	28'0"
全高 (バケット最大リフト時)	mm	5,692	5,910	5,662	5,662	5,662
	ft/in	18'8"	19'5"	18'7"	18'7"	18'7"
ローダ最小旋回半径 (バケットを 運搬姿勢にしたとき)	mm	14,018	14,109	13,849	14,017	14,017
	ft/in	46'0"	46'4"	45'5"	46'0"	46'0"
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみあり) *	kg	12,317	11,832	11,976	11,838	12,157
	lb	27,154	26,085	26,403	26,098	26,802
静止転倒荷重 (直進時、タイヤたわみなし) *	kg	13,146	12,666	12,800	12,661	12,991
	lb	28,982	27,924	28,219	27,913	28,640
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみあり) *	kg	10,762	10,316	10,439	10,301	10,605
	lb	23,726	22,743	23,014	22,710	23,380
静止転倒荷重 (アーティキュレート時、 タイヤたわみなし) *	kg	11,499	11,056	11,171	11,032	11,346
	lb	25,351	24,374	24,628	24,321	25,014
掘削力	kN	155	123	146	145	159
	lbf	34,757	27,648	32,926	32,667	35,683
運転質量 *	kg	19,399	19,558	19,698	19,806	19,649
	lb	42,767	43,118	43,427	43,665	43,319

\* 示している静止転倒荷重および運転質量は、次の車両仕様構成に基づきます。Maxam MS302 23.5R25 タイヤ、油水類満タン、オペレータ搭乗、標準カウンタウエイト、標準周囲アレンジメント、リミテッドスリップディファレンシャルアクスル (フロント/リア)、ローディングフェンダ、ライドコントロール。

(タイヤたわみあり) ISO 14397-1:2007 第 1~6 項に完全適合 (計算と試験間に 2% 検証を義務付け)。

(タイヤたわみなし) ISO 14397-1:2007 第 1~5 項に適合。

バケットとワークツールの装備は、地域によって異なる場合があります。詳細については、最寄りの Cat ディーラーにお問い合わせください。

## フォーク仕様

### フォーク仕様

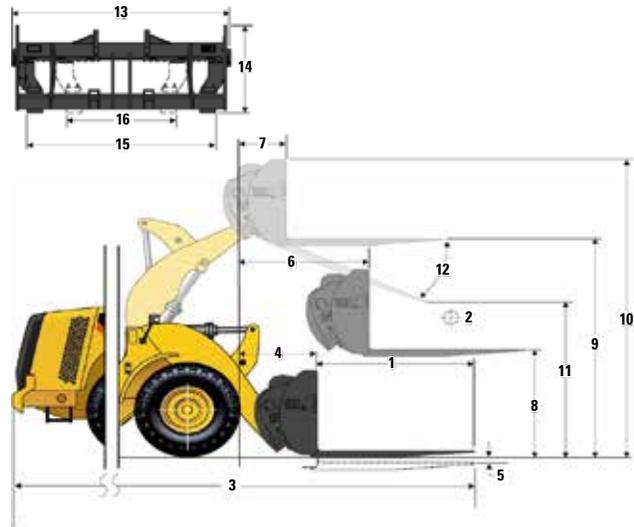
1	タイヤ長さ	mm	1,524
		in	60.0
2	荷重中心	mm	762
		in	30.0
	静止転倒荷重 - 直進時 (フォークレベル)	kg	9,221
		lbs	20,323
	静止転倒荷重 - アーティキュレート時 (フォークレベル)	kg	8,096
		lbs	17,844
	定格積載質量 (SAE J1197 - FTSTL 50 %)	kg	4,048
		lbs	8,922
	定格積載質量 (CEN EN 474-3 不整地 - FTSTL 60 %)	kg	4,858
		lbs	10,707
	定格積載質量 (CEN EN 474-3 堅い平坦地 - FTSTL 80 %)	kg	6,182
		lbs	13,625
3	最大全長	mm	8,960
		in	352.7
4	リーチ (フォークグラウンドレベル時)	mm	1,266
		in	49.8
5	地面からタイヤ上部まで (最小高さおよびフォーク水平時)	mm	-86
		in	-3.4
6	リーチ (リフトアーム水平およびフォーク水平時)	mm	1,768
		in	69.6
7	リーチ (フォーク最大高さ時)	mm	846
		in	33.3
8	地面からタイヤ上部まで (アーム水平およびフォーク水平時)	mm	1,759
		in	69.2
9	地面からタイヤ上部まで (最大高さおよびフォーク水平時)	mm	3,877
		in	152.7
10	フォーク全高 (最大リフト時) (キャリッジ上部から地面まで)	mm	4,652
		in	183.2
11	クリアランス (最大リフトおよび最大ダンプ時)	mm	2,485
		in	97.8
12	水平からの最大吐出角度	角度	48
13	キャリッジ全幅	mm	2,217
		in	87.3
14	キャリッジ全高	mm	840
		in	33.1
15	タイヤを含めた幅 (最大幅)	mm	2,070
		in	81.5
16	タイヤを含めた幅 (最小幅)	mm	470
		in	18.5
	タイヤ幅 (シングルタイヤ)	mm	150.0
		in	5.9
	タイヤ厚さ	mm	65.0
		in	2.6
	タイヤ容量	kg	6,300
		lbs	13,885
	運転質量	kg	18,852
		lbs	41,551

## 950 GC STD

パレットフォーク、FUSION

87" キャリッジ 60" タイン

530-1861 548-3265

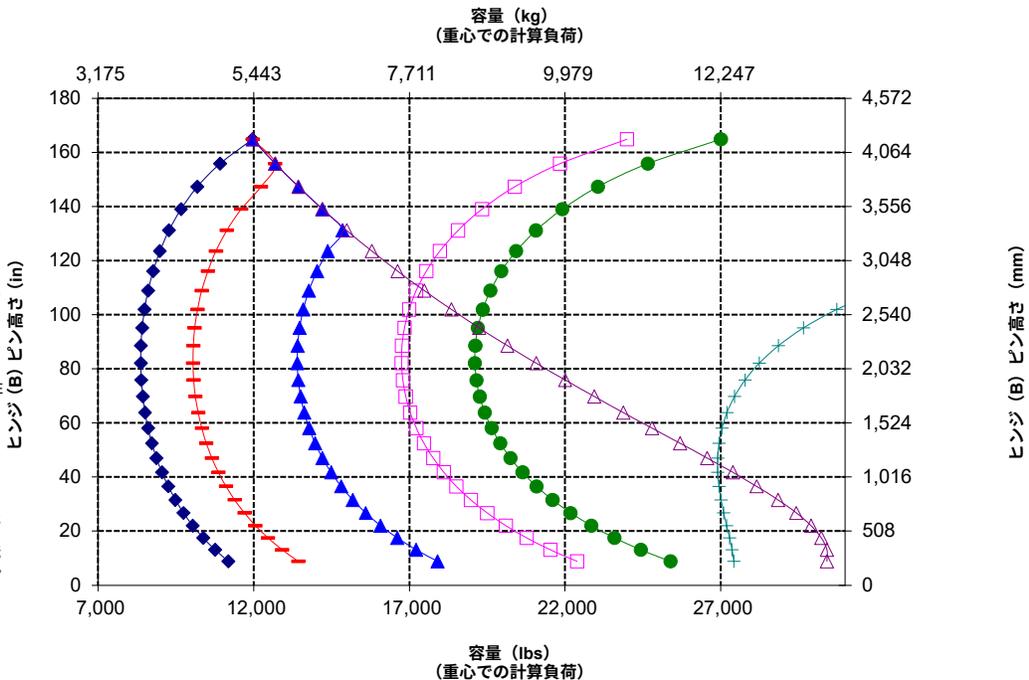


注記：静止転倒荷重と運転質量は、次のローダコンフィギュレーションに基づきます。L3 MAXAM MS302 タイヤ、エアコンディショニング、ライドコントロール、パワートレインガード、油水分類タンク、燃料タンク、冷却水、潤滑油、オペレータ乗車。

仕様および定格は、SAE\* J1197、SAE J732、CEN\*\* EN 474-3 の規格に準拠しています。

パレットフォーク装着ローダの定格作動荷重は次によって決まります。SAE J1197: 全回転静止転倒荷重の 50 % または油圧限界。CEN EN 474-3: 不整地での全回転静止転倒荷重の 60 % または油圧限界。CEN EN 474-3: 堅い平坦地での全回転静止転倒荷重の 80 % または油圧限界。

\*SAE - Society of Automotive Engineers、自動車技術者協会  
\*\*CEN - European Committee for Standardization、欧州標準化委員会



警告：タイヤ負荷容量を超えてはいけません。個々のタイヤ容量は各タイヤの側面に刻印されています。

# 950 GC ホイールローダの仕様

## フォーク仕様

### フォーク仕様

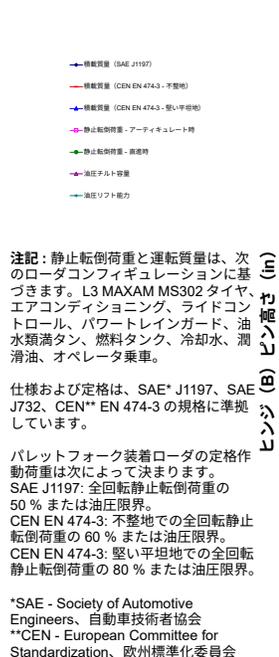
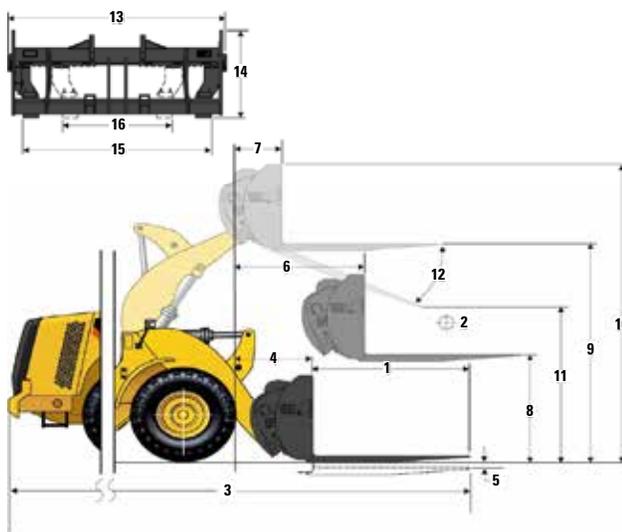
1	タイヤ長さ	mm in	1,830 72.0
2	荷重中心	mm in	915 36.0
	静止転倒荷重 - 直進時 (フォークレベル)	kg lbs	8,775 19,340
	静止転倒荷重 - アーティキュレート時 (フォークレベル)	kg lbs	7,699 16,968
	定格積載質量 (SAE J1197 - FTSTL 50 %)	kg lbs	3,849 8,484
	定格積載質量 (CEN EN 474-3 不整地 - FTSTL 60 %)	kg lbs	4,619 10,181
	定格積載質量 (CEN EN 474-3 堅い平坦地 - FTSTL 80 %)	kg lbs	5,428 11,962
3	最大全長	mm in	9,266 364.8
4	リーチ (フォークグラウンドレベル時)	mm in	1,266 49.8
5	地面からタイヤ上部まで (最小高さおよびフォーク水平時)	mm in	-86 -3.4
6	リーチ (リフトアーム水平およびフォーク水平時)	mm in	1,768 69.6
7	リーチ (フォーク最大高さ時)	mm in	846 33.3
8	地面からタイヤ上部まで (アーム水平およびフォーク水平時)	mm in	1,759 69.2
9	地面からタイヤ上部まで (最大高さおよびフォーク水平時)	mm in	3,877 152.7
10	フォーク全高 (最大リフト時) (キャリアッジ上部から地面まで)	mm in	4,652 183.2
11	クリアランス (最大リフトおよび最大ダンプ時)	mm in	2,259 88.9
12	水平からの最大吐出角度	角度	48
13	キャリアッジ全幅	mm in	2,217 87.3
14	キャリアッジ全高	mm in	840 33.1
15	タイヤを含めた幅 (最大幅)	mm in	2,070 81.5
16	タイヤを含めた幅 (最小幅)	mm in	470 18.5
	タイヤ幅 (シングルタイヤ)	mm in	150.0 5.9
	タイヤ厚さ	mm in	65.0 2.6
	タイヤ容量	kg lbs	5,246 11,562
	運転質量	kg lbs	18,899 41,654

## 950 GC STD

87" キャリッジ 72" タイヤ

パレットフォーク、FUSION

530-1861 530-1869



警告: タイヤ負荷容量を超えてはいけません。個々のタイヤ容量は各タイヤの側面に刻印されています。

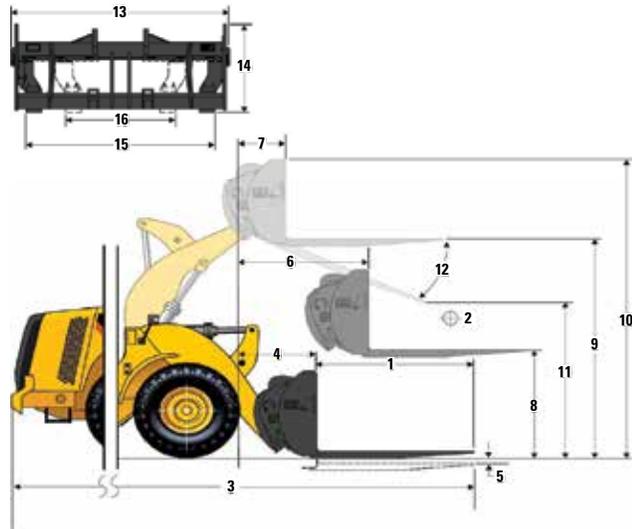
## フォーク仕様

### フォーク仕様

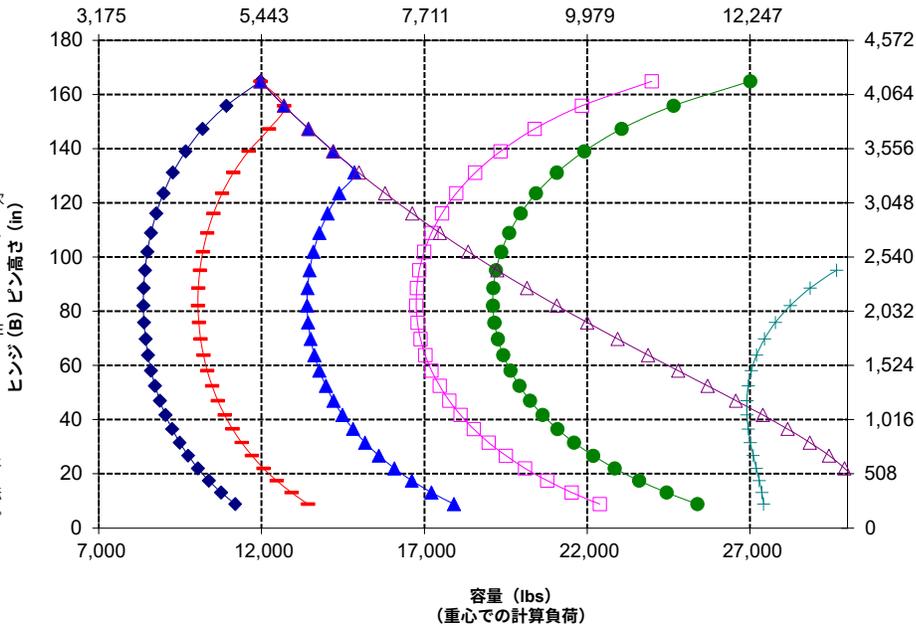
1	ティン長さ	mm	1,524
		in	60.0
2	荷重中心	mm	762
		in	30.0
	静止転倒荷重 - 直進時 (フォークレベル)	kg	8,947
		lbs	19,719
	静止転倒荷重 - アーティキュレート時 (フォークレベル)	kg	7,820
		lbs	17,236
	定格積載質量 (SAE J1197 - FTSTL 50 %)	kg	3,910
		lbs	8,618
	定格積載質量 (CEN EN 474-3 不整地 - FTSTL 60 %)	kg	4,692
		lbs	10,342
	定格積載質量 (CEN EN 474-3 堅い平坦地 - FTSTL 80 %)	kg	6,256
		lbs	13,789
3	最大全長	mm	8,915
		in	351.0
4	リーチ (フォークグラウンドレベル時)	mm	1,221
		in	48.1
5	地面からティン上部まで (最小高さおよびフォーク水平時)	mm	18
		in	0.7
6	リーチ (リフトアーム水平およびフォーク水平時)	mm	1,761
		in	69.3
7	リーチ (フォーク最大高さ時)	mm	839
		in	33.0
8	地面からティン上部まで (アーム水平およびフォーク水平時)	mm	1,863
		in	73.4
9	地面からティン上部まで (最大高さおよびフォーク水平時)	mm	3,982
		in	156.8
10	フォーク全高 (最大リフト時) (キャリッジ上部から地面まで)	mm	5,022
		in	197.7
11	クリアランス (最大リフトおよび最大ダンプ時)	mm	2,434
		in	95.8
12	水平からの最大吐出角度	角度	54
13	キャリッジ全幅	mm	2,528
		in	99.5
14	キャリッジ全高	mm	1,130
		in	44.5
15	ティンを含めた幅 (最大幅)	mm	2,178
		in	85.7
16	ティンを含めた幅 (最小幅)	mm	576
		in	22.7
	ティン幅 (シングルティン)	mm	180.0
		in	7.1
	ティン厚さ	mm	90.0
		in	3.5
	ティン容量	kg	17,800
		lbs	39,231
	運転質量	kg	19,227
		lbs	42,377

## 950 GC STD 建設用フォーク (FUSION)

96" キャリッジ 60" タイン  
520-7957 520-7980



容量 (kg)  
(重心での計算負荷)



警告: タイン負荷容量を超えてはいけません。個々のティン容量は各ティンの側面に刻印されています。

# 950 GC ホイールローダの仕様

## フォーク仕様

### フォーク仕様

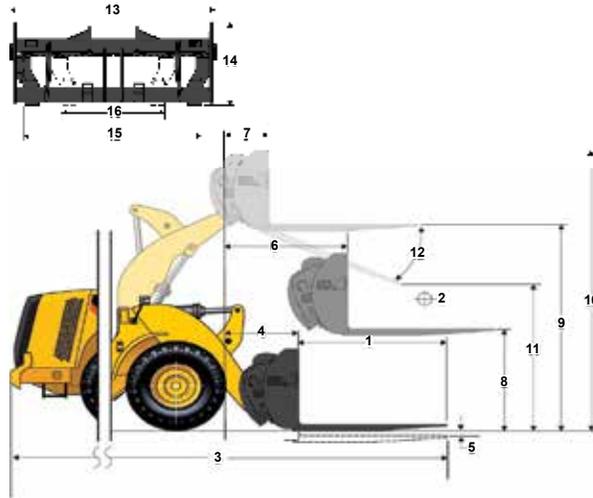
1	タイヤ長さ	mm	1,829
		in	72.0
2	荷重中心	mm	915
		in	36.0
	静止転倒荷重 - 直進時 (フォークレベル)	kg	8,496
		lbs	18,725
	静止転倒荷重 - アーティキュレート時 (フォークレベル)	kg	7,417
		lbs	16,348
	定格積載質量 (SAE J1197 - FTSTL 50 %)	kg	3,709
		lbs	8,174
	定格積載質量 (CEN EN 474-3 不整地 - FTSTL 60 %)	kg	4,450
		lbs	9,809
	定格積載質量 (CEN EN 474-3 堅い平坦地 - FTSTL 80 %)	kg	5,658
		lbs	12,469
3	最大全長	mm	9,220
		in	363.0
4	リーチ (フォークグラウンドレベル時)	mm	1,221
		in	48.1
5	地面からタイヤ上部まで (最小高さおよびフォーク水平時)	mm	18
		in	0.7
6	リーチ (リフトアーム水平およびフォーク水平時)	mm	1,761
		in	69.3
7	リーチ (フォーク最大高さ時)	mm	839
		in	33.0
8	地面からタイヤ上部まで (アーム水平およびフォーク水平時)	mm	1,863
		in	73.4
9	地面からタイヤ上部まで (最大高さおよびフォーク水平時)	mm	3,982
		in	156.8
10	フォーク全高 (最大リフト時) (キャリッジ上部から地面まで)	mm	5,022
		in	197.7
11	クリアランス (最大リフトおよび最大ダンブ時)	mm	2,187
		in	86.1
12	水平からの最大吐出角度	角度	54
13	キャリッジ全幅	mm	2,528
		in	99.5
14	キャリッジ全高	mm	1,130
		in	44.5
15	タイヤを含めた幅 (最大幅)	mm	2,178
		in	85.7
16	タイヤを含めた幅 (最小幅)	mm	576
		in	22.7
	タイヤ幅 (シングルタイヤ)	mm	180.0
		in	7.1
	タイヤ厚さ	mm	90.0
		in	3.5
	タイヤ容量	kg	14,800
		lbs	32,619
	運転質量	kg	19,288
		lbs	42,511

## 950 GC STD

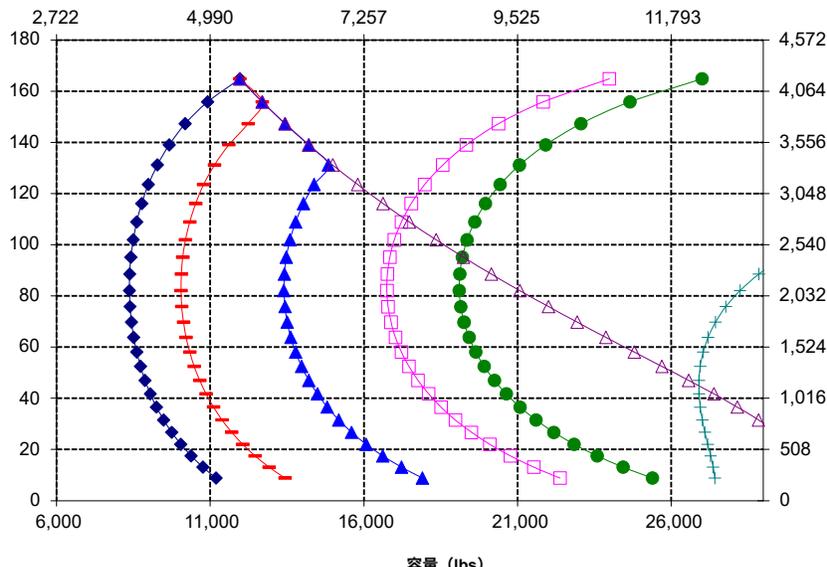
建設用フォーク (FUSION)

96" キャリッジ 72" タイン

520-7957 520-7979



容量 (kg)  
(重心での計算負荷)



注記: 静止転倒荷重と運転質量は、次のローダコンフィギュレーションに基づきます。L3 MAXAM MS302 タイヤ、エアコンディショニング、ライドコントロール、パワーレインガード、油水分離タンク、燃料タンク、冷却水、潤滑油、オペレータ乗車。

仕様および定格は、SAE\* J1197、SAE J732、CEN\*\* EN 474-3 の規格に準拠しています。

パレットフォーク装着ローダの定格作動荷重は次によって決まります。SAE J1197: 全回転静止転倒荷重の 50 % または油圧限界。CEN EN 474-3: 不整地での全回転静止転倒荷重の 60 % または油圧限界。CEN EN 474-3: 堅い平坦地での全回転静止転倒荷重の 80 % または油圧限界。

\*SAE - Society of Automotive Engineers、自動車技術者協会  
\*\*CEN - European Committee for Standardization、欧州標準化委員会



警告: タイン負荷容量を超えてはいけません。個々のタイヤ容量は各タイヤの側面に刻印されています。

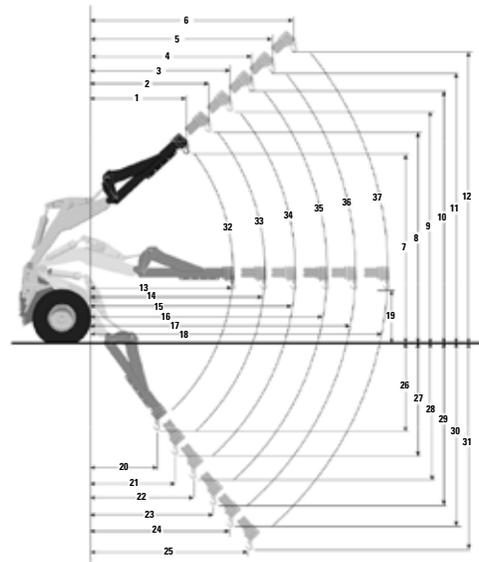
## マテリアルハンドリングアーム仕様

### 950 GC

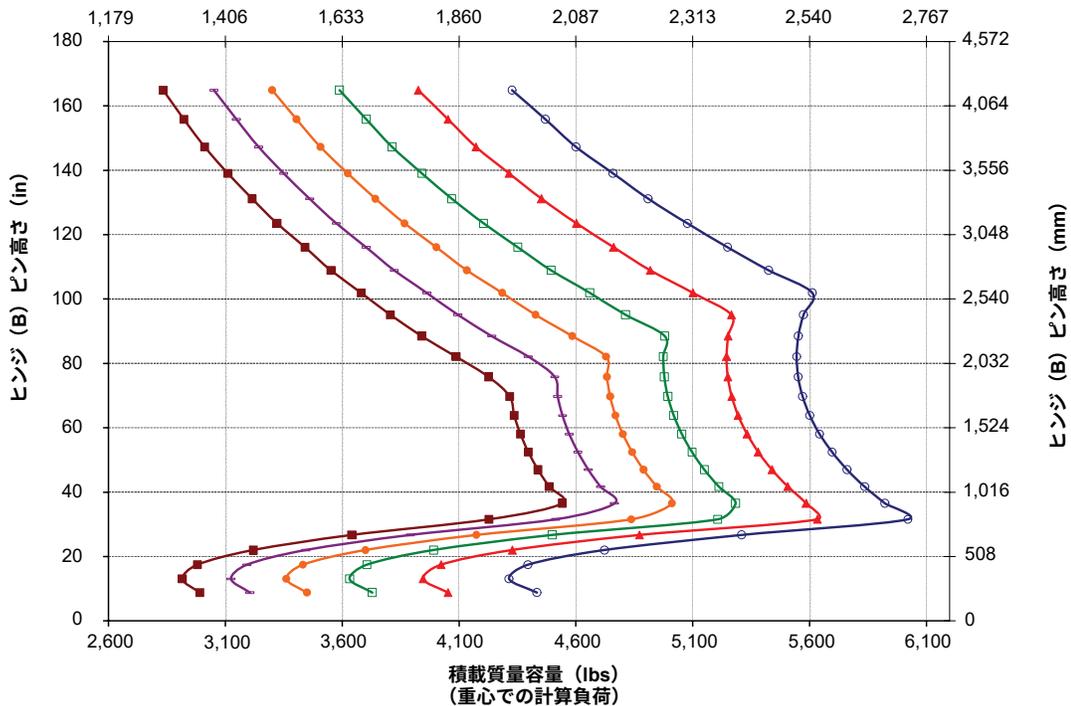
624-9044 Fusion MHA

6 位置

MHA 仕様	収縮	エクステンション1	エクステンション2	エクステンション3	エクステンション4	延長	
最大リフト - フックリーチ (1、2、3、4、5、6)	mm ft. in	2,043 6' 8"	2,174 7' 1"	2,305 7' 6"	2,437 7' 11"	2,568 8' 5"	2,699 8' 10"
最大リフト - フック高さ (7、8、9、10、11、12)	mm ft. in	7,058 23' 1"	7,333 24' 0"	7,608 24' 11"	7,883 25' 10"	8,158 26' 9"	8,433 27' 8"
水平 - フックリーチ (13、14、15、16、17、18)	mm ft. in	4,626 15' 2"	4,930 16' 2"	5,235 17' 2"	5,540 18' 2"	5,845 19' 2"	6,150 20' 2"
水平 - フック高さ (19)	mm ft. in	1,829 6' 0"	1,829 6' 0"	1,829 6' 0"	1,829 6' 0"	1,829 6' 0"	1,829 6' 0"
最小リフト - フックリーチ (20、21、22、23、24、25)	mm ft. in	1,469 4' 9"	1,565 5' 1"	1,660 5' 5"	1,755 5' 9"	1,850 6' 0"	1,946 6' 4"
最小リフト - フック高さ (26、27、28、29、30、31)	mm ft. in	(2,979) -9' 2"	(3,269) -10' 3"	(3,558) -11' 3"	(3,848) -12' 4"	(4,137) -13' 5"	(4,427) -14' 5"
静止転倒荷重 (直進時)	kg lb	5,740 12,650	5,429 11,966	5,150 11,350	4,897 10,793	4,667 10,286	4,457 9,823
静止転倒荷重 (アーティキュレート時)	kg lb	5,039 11,106	4,766 10,503	4,519 9,960	4,296 9,469	4,094 9,022	3,908 8,614
運転質量	kg lb	18,613 41,024	18,613 41,024	18,613 41,024	18,613 41,024	18,613 41,024	18,613 41,024



積載質量容量 (kg)  
(重心での計算負荷)



# 950 GC ホイールローダの仕様

## 標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
<b>運転席</b>			<b>電気系統</b>		
キャブ (加圧式、騒音抑制型)	✓		電動スタータ (ヘビーデューティ)	✓	
CB ラジオ対応		✓	始動および充電システム、24 V	✓	
サービスアクセスドア	✓		照明システム: ハロゲン作業灯 4 個、 ハロゲン走行ライト 2 個	✓	
ステアリングコラム (角度調整可能)	✓		LED テールライト	✓	
セカンダリステアリング (電気式) *		✓	ライト: LED 作業灯 4 個またはハロゲン 作業灯 8 個		✓
シート、CAT コンフォート (クロス)、 メカニカルサスペンション	✓		<b>モニタリングシステム</b>		
エアサスペンションシート (ハイバック)	✓		デジタルインジケータ:	✓	
エアサスペンションシート (ヒータ付き)	✓		ギヤインジケータ		
ラジオ: DAB+/AM/FM/BT		✓	スピードメータ		
ROPS/FOPS キャブ構造	✓		サービスマータユニット		
ミラー (外部リアビュー)	✓		故障コード		
エアコン (HVAC) (吹出口 10 個、キャ ブ外にフィルタユニット)	✓		ゲージ:	✓	
ウィンドウ (スライド式、左右)	✓		エンジンクーラント温度 / 液体レベル		
<b>パワートレイン</b>			作動油 / トランスミッションオイル		
CAT C7.1 エンジン (排出ガス基準に適合)	✓		温度		
アクスル (オイルクーラ)		✓	タコメータ / 尿素水レベル		
EIMS (Engine Idle Management System、エンジンアイドル制御シ ステム)	✓		<b>追加装備品</b>		
フィルタ、燃料プライマリウォータセ パレータ / セカンダリ	✓		Cat 自動潤滑		✓
ラジエータ (ユニットコア、9.5 フィン、 ATAAC)	✓		カメラ、フロントビュー (キット) **		✓
ラジエータファン (電子制御、油圧駆 動式、温度検出機能、オンデマンド)	✓		フェンダ (ローディング)		✓
リバース冷却ファン (自動および手動 コントロール)	✓		CAT PAYLOAD スケールシステム		✓
ガード		✓	CAT PAYLOAD 取付け		✓
トランスミッションニュートラライザ (調整式) ロックアウトスイッチ	✓		収納スペース / ツールボックス		✓
トルクコンバータ	✓		チルトシリンダガード		✓
油圧式密閉湿式ディスクブレーキ	✓		可変後進警報ブザー (周囲騒音より 3 dB 高い)	✓	
自動パワーシフトトランスミッション (前進 4 速 / 後進 3 速、手動 2-1 キック ダウン機能)	✓		キャブフロントウィンドウガード		✓
<b>油圧システム</b>			Product Link (プロダクトリンク) 対応	✓	
ロードセンシング機能付き作動装置シ ステム	✓		L5 トラクションタイヤ		✓
ロードセンシング機能付き専用ステア リングポンプ	✓		L3 ラジアルまたはバイアスプライタイヤ	✓	
ライドコントロール		✓	プレクリーナ (タービン)		✓
追加の専用 1 軸レバー付き第 3 機能		✓	<b>リンケージ</b>		
Cat XT™ホース	✓		リフトおよびバケットポジションナキ ックアウト (電磁機械式、機械式調整)	✓	
S•O•S <sup>SM</sup> オイルサンプリングバルブ	✓		クイックカブラコントロール		✓
			Z バー (組立てクロスチューブ / チルトレバー)	✓	

\* 法令で定められている場合は標準。

\*\* 使用要件については、パブリケーション M0106413 を参照。

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時時点で有効ですが、機械の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サステナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/ja/company/sustainability.html> をご覧ください。

## エンジン

- CAT® C7.1 エンジンは、米国 EPA Tier 4 Final、EU Stage V、韓国 Stage V、日本オフロード法 2014 年基準の各排出ガス基準に適合しています。
- CAT ディーゼルエンジンでは、ULSD（硫黄含有量が 15 ppm 以下の超低硫黄ディーゼル燃料）または次を上限として、より低い炭素強度燃料を混合した ULSD を使用する必要があります。
  - ✓ 20% のバイオディーゼル FAME（脂肪酸メチルエステル）\*
  - ✓ 100% の再生可能ディーゼル、HVO（水素化植物油）、および GTL（ガス液化）燃料
 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせいただくか、『Caterpillar 推奨の機械油水類』（SEBU6250）を参照してください。

\* 後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大 100% のバイオディーゼルを使用できます（混合率が 20% を超えるバイオディーゼルの使用については、Cat ディーラーにお問い合わせください）

## エアコンディショニングシステム

当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒 R134a（地球温暖化係数=1,430）を使用。システムに含まれている冷媒の質量は 1.9 kg (4.2 lb) で、CO<sub>2</sub> 換算で 2.717 メートルトン (2.995 米トン) に相当します。

## 塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度（ppm 単位）は次のとおりです。
  - バリウム < 0.01 %
  - カドミウム < 0.01 %
  - クロム < 0.01 %
  - 鉛 < 0.01 %

## 騒音

オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008)	73 dB (A)
外部音響出力レベル (ISO 6395:2008)	109 dB(A)
オペレータ音圧レベル (ISO 6396:2008)	72 dB (A) *
外部音響出力レベル (ISO 6395:2008)	107 dB (A) **

\* EU 指令および英国指令の採用国を含む。

\*\* EU 騒音指令 2000/14/EC およびイギリス騒音規制 2001 No. 1701

## 油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CAT ディーゼルエンジン不凍液 / クーラント (DEAC) および CAT エクステンデッドライフクーラント (ELC) は、リサイクルできます。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。
- CAT Bio HYDO™ Advanced は、EU Ecolabel 認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

## 機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なることがあります。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。
  - エンジンアイドルリング制御システムとオートアイドルリングストップ機能は、アイドル回転数を低減し、燃料効率を最大限に高める
  - 速度変更ファンにより、機械の冷却要件に合わせて回転数が調節され、燃料を節約できる
  - ロードセンシング油圧システムは、ある機能を作動させるとき、それに必要な量だけ流量と圧力を供給する

## リサイクル

- 車両に含まれる材質の分類と概算の質量割合を以下に示します。製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

材質タイプ	質量割合
スチール製	43.72 %
鉄	1.17 %
非鉄金属	27.13 %
合金	0.00 %
金属および非金属混合物	0.60 %
プラスチック	0.06 %
ゴム	0.58 %
非金属混合物	0.05 %
流体	0.30 %
その他	24.39 %
未分類	2.00 %
合計	100 %

- リサイクル可能率の高い車両により、貴重な天然資源をさらに効率的に使用でき、耐用年数に到達した製品の価値が高まります。ISO 16714（土木建設機械類 - リサイクル可能率および回収可能率 - 用語および計算方法）によれば、リサイクル可能率は新品の車両のリサイクル、再利用、またはその両方が可能な質量による割合（パーセント単位の質量分率）として定義されます。

部品表のすべての部品は、まず ISO 16714 および日本 CEMA（Construction Equipment Manufacturers Association、日本建設機械工業会）の基準により定義されているコンポーネントの一覧に基づくコンポーネントタイプにより評価されます。さらに、残りの部品のリサイクル可能率が材質タイプに基づいて評価されます。

製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

リサイクル可能率 - 94 %



オフロード法2014年  
基準適合

Cat 製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、  
Web サイト ([www.cat.com](http://www.cat.com)) をご覧ください。

この製品に使用されるマテリアルと仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械はオ  
プション装備品を含む場合があります。利用可能なオプションについては、Cat ディーラにお問い合わせ  
ください。

©2023 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それらの各ロゴ、  
Product Link、XT、S・O・S、"Caterpillar Yellow"、"Power Edge" および Cat "Modern Hex" のトレードドレス  
は、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar 社の商標であり、許可なく使用する  
ことはできません。

AJXQ2457-03 (4-2023)  
ビルド番号 : 01B  
(N Am, Europe, Japan,  
S Korea, Turkey, Chile)

